

(様式1)

# 個別施策評価調書

主管部	保健福祉部	
関係部	-	-
	-	-

基本施策	I-1 健康・福祉サービスを強化する
個別施策	⑤ 健康づくりの推進
個別施策の方向	健康に関心を持ち自分の健康に対して主体的に取り組むことができ、健康の保持増進が図れるように支援し、健康寿命の延伸に取り組む。また、健康づくりの拠点づくりなど支援体制を整備する。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	340,062	人件費	86,516	事業コスト	426,578				
	事業費内訳	国庫支出金	24,751	県支出金	33,010	地方債	0	その他特財	31,939	一般財源	250,362
H28年度	決算	事業費	371,533	人件費	97,731	事業コスト	469,264				
	事業費内訳	国庫支出金	23,015	県支出金	29,909	地方債	0	その他特財	27,840	一般財源	290,769
H29年度	決算	事業費	420,274	人件費	103,269	事業コスト	523,543				
	事業費内訳	国庫支出金	28,988	県支出金	28,885	地方債	0	その他特財	27,348	一般財源	334,808

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	39.6%	43.3%	3.7%
5) 健康づくりの支援			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
提言	<p>市民の参加をどのように増やしていくかが課題であり、今後工夫をしていくことが必要である。また、参加者同士がお互いを励まし合うことができる仕組みを検討願いたい。また、公園等に設置されている高齢者が日常的に気軽に体を動かし健康づくりができるような運動遊具整備を、さらに進めてもらいたい。</p> <p>個別施策「高齢者支援体制の整備」と連携を図り、事業を進められたい。</p>	

取組概要	<p>食生活改善推進員による食生活の改善活動や、運動普及推進員などによる運動習慣の定着への取り組みなどをおして、若い時期から高齢期に至るまで、生涯を通じて健やかな生活を送ることのできる地域づくりに対応した施策を推進している。また、若いうちからの生活習慣病やがんの予防に向けた、健康への関心を高めるための広報活動等や、受診しやすい各種健康診断(特定健康診査、基本健康診査、がん検診など)の環境整備に取り組んでいる。今後は、高齢者がより元気で自分らしく生活していただけるような、健康づくり・介護予防への取り組みを、より充実していきたい。</p>
成果	<p>がん検診全体における受診者数は増加(316人)したが、受診率は減少(0.6ポイント)した。また、特定健康診査においても、受診者数は増加(525名)したが、受診率は減少(1.7ポイント)した。2つの健診が示す受診者数と受診率の増減については、受診対象者数の増加が大きく影響していると思われる。</p> <p>健康マイレージ事業については、チャレンジ期間を昨年度の4週間から2週間に短縮したことにより、応募者数が429人から655人と226人増加した。参加者アンケートでは、回答者の約9割から、健康づくりへの意識が向上したという回答を得ることができた。</p>
今後の課題	<p>がん検診・特定健康診査ともに受診者数は増加傾向にあるが、受診率は減少傾向にあるため、個人通知や未受診者への再勧奨などをより一層強化し、受診者数及び受診率の向上に向けて取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>胃がん内視鏡検診の平成31年度における円滑な実施に向けた取り組み。</li> </ul>
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診については、未受診者の特に多い40～50歳代を対象としたアンケート調査を実施し、未受診の原因を検証し、受診者数及び受診率の向上に向けた対策を検討する。また、がん検診・特定健康診査・基本健康診査の受診対象者に送付する受診券や、同封するチラシに工夫を凝らすことにより、受診対象者への積極的な周知に取り組む。</li> <li>胃がん内視鏡検診の導入については、市医師会や関係機関と継続して検討を重ねる。</li> </ul>

自己評価 (所管部署評価)	
自己評価記述	<p>がん検診・特定健康診査ともに、受診者数は増加し受診率が減少したが、乳がんと子宮がん検診は受診者数・受診率ともに増加した。これは、女性特有のがんに対する意識が高まってきたことの現れと言える。</p> <p>基本健康診査や集団健康診査時における健康相談の機会を拡大したことにより、相談者が大幅に増え、生活習慣病の予防・重症化の防止、適切な医療につなぐことができた。</p> <p>健康マイレージ事業については、本事業に参加することにより、参加者の健康意識に変化が生じたことが、アンケート結果から見てとることができた。</p>